



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

- ◆ 令和4年産米 出荷契約が始まります！
- ◆ 令和4年度JAレーク伊吹営農軽油対策奨励について
- ◆ 農政ダイジェスト



イネカメムシ再拡大

近年、「イネカメムシ」による被害により大幅な減収が各地で頻発しており、問題となっています。本虫は他の斑点米カメムシと違い、主に子実粒の基部(胚芽付近)を加害します。最近、農業新聞などでも記事となっており令和4年産の出穂期付近は注意してください。

- ・発育阻害が生じ、割れ米や不稔籾の発生で減収
- ・穂揃期以降の吸汁では斑点米となり等級格下げの原因となります

穂ぞろい期+7~10日後の2回防除が有効的
一般的な斑点米カメムシ類用の農薬（スタークル等）が有効です。本虫は斑点米被害だけでなく、不稔による大幅な減収を発生させる恐れもあるため出穂前に水田侵入した場合は即防除を行いましょう。また、周囲よりも出穂時期が早い水田や、遅い水田へ集中して飛来するので注意が必要です。

メモ

- ✓ ラウンドアップマックスロード
春の大型企画キャンペーン
3月31日まで
- ✓ 確定申告お忘れなく！

米の需要は、人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルスの影響で需要が毎年大きく減少しています。需要減少に伴って前年までの持越在庫が増大し、米の需給環境は前年以上に厳しい状況になる見通しです。JAレーク伊吹では令和4年産米も出荷申出書による事前契約に取り組み、販売先の確保と有利買取販売を行います。

出荷契約スケジュール



「JA出荷申出書」
「水田活用米穀申込書」
「カントリーエレベーター利用申込書」
提出期限：令和4年3月7日（月）

重要

事前契約

出荷契約数量を追加する場合は、
本契約時に追加契約することができます。

重要

事前契約(播種前・収穫前)に基づき販売先と締結することで、有利販売が可能となるため、JAと出荷契約がない米穀は、事前契約外での販売となり買取価格が下がります。

1袋でも多くJAへ出荷申込をよろしくお願いいたします。



出荷申出書の記入方法

品 種 名	作付面積	生産見込数	出荷申出数		水田活用 米穀数	飯用米数	前年 出荷実績
			(水田活用米穀 産出量)	内JA米数			
コシヒカリ	049	アール	袋	袋	袋	袋	袋
みずかがみ	855						
全農基準米	350						
キヌヒカリ	383						

「JAへ確実に出荷できる数量」
をご記入下さい。

「令和4年産 水田活用米穀申込書」を併せてご提出下さい。
出荷数量については下記の算出方法を参考にして下さい。

※ 水田活用米穀の取組内容（加工用米・輸出用米）
につきましてはJAに一任をお願いします。

< 水田活用米穀数の算出方法 >

生産調整面積から必要数量を算出する方法

必要とする生産調整面積 地域の基準単収※ 必要とする袋数

$$\boxed{a} \times \boxed{\text{kg}/10a} \div 30\text{kg} \div 10a = \boxed{\text{袋}}$$

- ※ 地域の基準単収は農業再生協議会が定める地域ごとの単収となります。
- ※ 1袋に満たない場合は切り上げます。

カントリーエレベーター利用案内

< カントリーの利用要件 >

- ①カドミウム吸収抑制技術の実施（基準施肥量に基づく土づくり資材の散布・出穂前後3週間の湛水管理）
- ②生産履歴記帳の確認（栽培が基準に合っているか生産履歴で確認 ⇒ 生産工程管理GAPの提出）

	伊吹カントリー	近江カントリー	長浜カントリー	神照カントリー
JA米 コシヒカリ	●	●	●	●
JA米 日本晴		●	●	
JA米 秋の詩		●		
全農基準米 みずかがみ		●		
ゆうだい21			● (北部荷受センター)	
飼料用米	●			●
JA米 キヌヒカリ	カントリー荷受はありません。(地場出荷のみ)			

- ・ 一般米の日本晴・秋の詩は近江カントリーにて、一般米のコシヒカリは伊吹カントリーにて荷受します。
- ・ 複数年契約日本晴「あっぱれ日本晴」及び「ゆうだい21」のカントリー利用につきましては、原則出荷のみとし、飯米申込み及び水田活用米穀の出荷申込みはできません。
- ・ 「ゆうだい21」の荷受けにつきましては、長浜北部米麦荷受センターにて「JA米コシヒカリ」の荷受終了後となります。
- ・ コンタミ防止対策として、品種毎の施設の集約をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

重要

出荷契約のない品種でカントリーから出荷売渡が発生した場合、**事前契約を行った買取価格よりも低くなりますので、ご注意ください。**

< 「JA米」の要件 >

1. 品種が確認できた種子により生産されたお米。(全量種子更新)
2. カドミウム吸収抑制技術の実施されたお米。
3. 生産基準に基づき栽培され、生産履歴記帳が確認されたお米。
4. 農産物検査を受け3等以上となったお米。
調製網目 1.85mm以上。(ゆうだい21の調製網目は1.80mm以上)



令和4年産水稲用生産資材の配送が始まります

今年度もJAで大変多くの水稲用生産資材をご注文頂き、誠にありがとうございます。付きましては、特別予約価格でご注文の資材を2月、3月配送を行います。注文に漏れ、不足等ございましたら早期に注文頂きます様、よろしくお願いいたします。

配送に伴って倉庫等に搬入スペースを設けて頂きますようお願いします。



令和4年度JAレーク伊吹営農軽油対策奨励について

JAレーク伊吹では担い手農家の燃料費用の負担軽減のため、JAレーク伊吹が供給する軽油引取免税証を利用する軽油を対象に、営農軽油対策奨励を行います。

- ✓ 対象期間
令和4年3月1日～令和4年11月30日
- ✓ 奨励対象者
TAC、営農経済渉外員が訪問する農家で、対象期間中の軽油引取免税証を利用した軽油が400ℓ以上の農家を対象。
- ✓ 奨励金
対象期間中に購入いただいた軽油1ℓ当たり5円（税込）の奨励を行います。
- ✓ 奨励金支払日
・支払時期 令和4年12月
・支払方法 対象者のJA口座へ入金



期間中**軽油引取免税証**を利用した軽油を**400ℓ以上**購入された農家へ奨励いたします。

免税軽油の手続きについて

令和4年4月以降に使用される免税軽油の手続きは、滋賀県東北部県税事務所課税課にて2月1日（火）より交付申請の事前受付されています。



免税軽油の申請・お問い合わせ先
滋賀県 東北部県税事務所 課税課
長浜市平方町1152-2
0749-65-6608

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価（税込）618円 購読申込受付中～

主食用米の収穫量は700万7000 t

農林水産省が2021年産水陸稲の収穫量を発表。水稲の作付面積（子実用）は140万3000ha、うち主食用作付面積は130万3000haで前年産に比べ6万3000ha減少。全国の10a当たりの収量見込みは539kg、主食用の収穫量は700万7000 tとなった。

人手不足解消に支援協議会を設立

JA全農が関東甲信越地域での農業労働力支援を広域で進めるために「関東甲信越ブロック労働力支援協議会」を設立した。九州ブロック、中国四国ブロック、東北ブロックに続く4例目。ブロック内での課題共有、県域でのパートナー企業と連携した農作業受委託事業など推し進める。

過去最大の補正予算が成立

21年度補正予算が参院本会議で可決、成立した。一般会計の総額は、補正予算としては過去最大となる35兆9895億円となった。農林水産関係は総額8795億円を計上。水田リノベーション事業に420億円、畜産クラスター事業に617億円、産地生産基盤パワーアップ事業に310億円などを充てた。

食品輸出額、初の1兆円超え

農水省によると、21年1～11月累計の農林水産物・食品の輸出額が1兆779億円となり、年間で初の1兆円超えとなった。前年同期比2280億円の増。品目では牛肉が87.7%増の472億900万円、リンゴが47.2%増の115億800万円、輸出先の上位は中国2024億、香港1977億円、アメリカ1507億円。